



新勝寺大本堂前で踊りを披露

勇壮な総引き

熱気に包まれた3日間

成田祇園祭

成田の夏を彩る一大行事、「成田祇園祭」が7月6日～8日、成田山新勝寺や表参道を中心に開催されました。6日の新勝寺大本堂前の総踊りから始まり、7日のJR成田駅前の総踊り、8日の総引き・総踊りなど、見せ場が満載の3日間。市内外からたくさんの観光客が訪れ、成田の町は祭り一色に染まりました。

のぞくとキラキラな世界にくぎ付け

万華鏡をつくらう

板ガラスを使って万華鏡を手作りする「万華鏡をつくらう」が6月23日、子ども館で開かれました。参加者はまず、細長く切られた板ガラス3枚を貼り合わせて、万華鏡の筒になる部分を作りました。その後、円形の厚紙にビーズやスパンコールなどで思い思いに飾り付けをしました。厚紙を筒の底に取り付けると、完成。自分の作った模様が万華鏡の中できらびやかに変化していくさまに、子どもたちは夢中で見入っていました。



うわ～、きれいだな!



これもおいしそう!

ご当地グルメを目指して!

成田味比ベストミナ祭り

成田市場で第4土曜日に開催されている「わくわく感謝デー」で6月23日、市内の飲食店が創意工夫を凝らしたスタミナ料理を味わってもらおうと、「成田味比ベストミナ祭り」が行われました。出店した6店舗は、市場で仕入れた新鮮な豚・鶏肉やマグロ・カツオなどをその場で調理し、1皿300円で提供。「いろいろな味を楽しめて、食が進むし、夏バテ対策にピッタリ」と、食べ歩きを楽しむ人で会場はにぎわっていました。



将来の夢を話す児童

将来の夢や趣味などを 市長と対話

人権教室&こども茶論in小御門小学校

市長と交流するとともに、人権に関する意識を高めてもらおうと、「人権教室&こども茶論」が7月4日、小御門小学校で行われました。人権教室には、全校生徒が参加し、人権擁護委員による話や〇×クイズで、人を思いやることの大切さを学びました。続いて行われたこども茶論では、6年生27人が、小泉市長と対話をしました。市長から、将来就きたい職業を聞かれた児童たちは、ゲームクリエイター・漫画家など、自分の夢を楽しそうに話していました。

俺たちの自慢の一皿を

男の料理教室

普段台所に立つ機会の少ない男性に、料理の楽しさを知ってもらおうと、「男の料理教室」が中央公民館で全4回にわたり行われました。参加したのは「妻に頼らず食事が作れるようになりたい」と言う男性など24人。初回は何から始めればいいのか戸惑っていた参加者たちも、回を重ねるごとに手際が良くなっていきました。3回目の7月15日のテーマは中華料理。かに玉・焼き鶏・もやし炒めご飯の3品に挑戦した参加者たちの包丁さばきや中華鍋を振る姿は、実に堂々としたもの。講師の説明に熱心に耳を傾けながら、手早く調理をしていきました。試食の時間には、新たにレポーターに加わった自分の作品を写真に撮ったり、満面の笑みで舌鼓を打ったりしていました。



華麗な鍋さばき!



訪問団と記念撮影

祇園祭などを体験

サンブルーノ市中学生友好訪問団

姉妹都市のアメリカ・サンブルーノ市から中学生6人を含む訪問団員9人が、7月2日～8日の7日間にわたり本市を訪れました。1985年から続けられている中学生のホームステイ交流を今回も実施。滞在中には、市内の中学校で給食を体験したり、祇園祭の山車曳きに参加したりと、日本の文化に親しみました。



成田の文化を肌で感じる